

教科・科目名	単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
公民倫理	3	3年普通科	選択F	高等学校新倫理新訂版 (清水書院)	最新図説倫理(浜島書店) 新倫理ノート(啓隆社)
学習目標	人間尊重の精神にもとづいて、青年期における自己形成と人間としての在り方・生き方についての理解と思索を深めるとともに、人格の形成に努める実践的な意欲を高める。生きる主体として自己の確立と良識ある公民としての必要な能力と態度を養う。				
主な学習内容	1. 青年期の課題と人間の自覚 ①青年期の課題と自己形成 ②人間としての自覚 ③日本人としての自覚 2. 現代と倫理 ①現代に生きる人間の倫理 ②現代の諸課題と倫理				
評価の観点・規準	「知識・理解」…教科書の内容を的確に理解している。その背景にある文化を明確に読み取ることができる。 「思考・判断・表現」…教科書や資料を通して、自分の考えや意見をまとめることができる。 「資料活用の技能」…教科書や資料集等から情報を正確に読み取ることができる。 「関心・意欲・態度」…積極的に授業に参加している。科目に対して、自学学習などを行っている。また、グループ学習等に進んで取り組んでいる。				
評価の方法	「知識・理解」…定期考査や小テスト等で適確に理解しているかを評価する。 「思考・判断・表現」…グループ学習やディベートを通して自分の考え・意見を的確に表現することができるかを評価する。 「資料活用の技能」…レポートの提出等を通して情報を正確に読み取ることができるかを評価する。 「関心・意欲・態度」…定期考査・小テスト・授業の質問、グループ学習への取り組み態度等を総合的にみて評価する。				
学期	内容				
1学期	第1編 青年期の課題と人間の自覚 第1章 青年期の課題と自己形成 第1節 青年期の意義 第2節 青年期の課題 第2章 人間としての自覚 第1節 ギリシア思想 第2節 キリスト教 第3節 イスラーム 第4節 仏教 第5節 中国思想				
2学期	第3章 日本人としての自覚 第1節 古代日本人の思想 第2節 日本の仏教思想 第3節 近世日本の思想 第4節 西洋思想の受容と展開 第2編 現代と倫理 第1章 現代に生きる人間の倫理 第1節 人間の尊厳 第2節 科学・技術と人間				
3学期	第3節 民主社会と自由の実現 第4節 社会と個人 第5節 人間への新たな問い 第6節 社会参加と幸福 第2章 現代の諸課題と倫理 第1節 生命の倫理 第2節 環境の倫理 第3節 家族の課題 第4節 地域社会の課題 第5節 高度情報化社会の課題 第6節 文化と宗教の課題 第7節 国際平和と人類の福祉の課題				
備考 ・講座の特色 ・履修条件 ・注意事項 等	資料集を使いながら各時代の代表的な思想家・哲学者を取り上げ、その思想を理解することを中心に学習を進めます。昔の人がどのように世界をとらえ、考えていたのかという思想史に興味を持てる人が履修することが望ましい。				